

地域との協働による学校教育の展開について

発 表 者 千葉県立大多喜高等学校 校長 福田 茂博
主幹教諭 佐々木 勝

本日のながれ

- 1 地域（大多喜町）について
- 2 学校（大多喜高校）について
- 3 大多喜高校魅力化コンソーシアムについて
- 4 コミュニティ・スクール(CS)の展開について
- 5 コンソーシアムとC・Sの関連について

1-1 大多喜町について



人口 令和7年 **7,983**人
 令和3年 8,745人 ※4年間で762人減少

人口動態	出生	死亡	転入	転出	増減
(令和6年)	20	185	244	280	-201

～千葉県HP 市区町村別人口動態資料～

千葉県
大多喜町
OTAKI TOWN





県立大多喜高等学校

前身：旧制大多喜中學校（明治33年開校）



全日制普通科 各学年4学級

	男	女	計
1年	77	63	140
2年	66	65	131
3年	64	66	130
計	207	194	401

学校教育目標

「持続可能な地域づくりに貢献できる地域創生リーダー」の育成

※ **探究学習** 育成する力 【課題発見能力】【課題解決能力】【自己表現能力】

生徒を主体とした地域貢献



「総合的な探究の時間」での探究学習の展開

カリキュラムマネジメント「大多喜共創プロジェクト」の開発



生徒による「課題解決」の提言

※ **教員基礎コース**

教員を志している生徒が教員としての基本的な素養を身に付ける

教育に関する学校設定教科・科目を設け、体験を重視した学習や、外部講師による 講座等を実施

教員としての職業意識を育むため、小・中・特別支援学校等との連携による教育体験実習を実施

高大連携校から派遣された外部講師による出前講座や大学の講義体験を実施

2-3 大多喜高校について



千葉県立大多喜高等学校

県立学校名簿へ

住所 〒298-0216 夷隅郡大多喜町大多喜481
電話 0470-82-2621
FAX 0470-82-4980
HP <https://cms2.chiba-c.ed.jp/otaki-h/>
アクセス いすみ鉄道大多喜駅 徒歩7分
学科等 全日制(3学期制) 普通科4学級
教員基礎コース(令和6年度開設)



大多探究では地域課題の解決に向け調査・成果発表を行います。表現力や課題解決能力を高めます



10の運動部と8の文化部

柔道、剣道、陸上競技、弓道、野球、ソフトテニス、卓球、バレーボール、サッカー、バスケットボール、書道、美術、生物、演劇、英語、マンドリン・ギター、吹奏楽、茶道

剣道部 H27 全国高等学校総体(女子個人)
卓球部 H28 全国高等学校総体(女子シングルス)
柔道部 H28 関東高等学校柔道大会
陸上競技部 H28 関東選手権大会
吹奏楽部 H27、H29、H30 東関東吹奏楽コンクール
R4 東関東吹奏楽コンクール
R5 東関東吹奏楽コンクール
美術部 H25~R5 全国高等学校総合文化祭美術工芸部門
R6 全国高等学校総合文化祭出場決定
書道部 R4~R5 全国高等学校総合文化祭書道部門

【学校の特色】

- 創立124年(明治33・1900年)、歴史と伝統のある地域とともに歩む学校
- 基礎学力の定着(少人数授業・習熟度別学習)、主体的・対話的な学びを取り入れた授業(少人数・習熟度別の学習は1年次 国語・数学・英語の授業で展開)
- iPadの無償貸与によるICTを活用した授業(課題配信や提出、デジタル教科書の活用、学習ソフトの活用など)
- 徹底した進路指導の実践(7時間授業、進学課外、夏期実力養成講座、ガイダンス等の実施)
- 英語の4技能を磨く授業(パフォーマンステストの実施、町補助によるALT派遣、英検受検の補助等)
- 表現力・課題解決能力等を磨く探究活動(大多探究:地域課題解決に向けたフィールドワーク・プレゼン等)
- コンソーシアムによる学校づくり(夷隅郡市2市2町、企業、関係団体、小中学校、大学等の協力)
- 地域に貢献する人材育成と地域連携の取組(部活動による地域貢献活動、いすみ鉄道支援ボランティア等)(いすみ鉄道駅舎清掃、小中学校での学習支援ボランティア、地域行事への参加)
- 教員基礎コースの開設(母校での実習等体験的な活動、高大連携による専門的な学び)
- 多くの大学と高大連携協定を締結(千葉工業大学・和洋女子大学・秀明大学・植草学園大学・三育学院大学)



いすみ鉄道支援活動



部活動の地域行事への参加



金管指導(吹奏楽部)



書き初め指導(書道部)



iPadを活用した学習活動



一人一台無償配付します。数学の学習では図形の変化や移動を手元で操作して理解したり、化学や生物の学習では知識の理解を確認するために早押しクイズ形式で演習をしたりして学んでいます。また、歴史の学習では必要なデータを取り出して調べ学習をしたり、自分の意見をチャットで発表し、共有化を図ったりもしています。また、探究学習ではプレゼン資料を作成し、データを配信して発表もします。



教員基礎コースでは、将来、教育職を志す生徒向けに講座形式で学習します。母校での体験実習、特別支援教育の実習、授業づくりや教育心理等、より専門的で実践的な学びをとおして、将来の進路意識を高めます。幼稚園教諭・保育士も含め、小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の先生を目指すためのコースです。地元の教育で育った先生が地元の子どもたちを育てていく取組です。

令和5年度大学進学先

千葉大学・茨城大学・秋田大学・東京芸術大学・秋田公立美術大学
千葉県立保健医療大学・國學院大学・駒澤大学・中央大学・東邦大学
法政大学・国家公務員(公正取引委員会)・千葉県職員・いすみ市役所・大多喜町役場

令和4年度大学進学先

千葉大学・福島大学・筑波技術大学・学習院大学・國學院大学・駒澤大学・中央大学
東京理科大学・獨協大学・東邦大学・東海大学・日本大学・法政大学・大多喜町役場
など

指定校推薦の枠がたくさんあります。国公立大学、私立大学をはじめ約60%が四年制大学へ進学します。就職では、公務員就職に力を入れて指導しています。多様な進路希望に対応できるように、小論文指導や面接指導なども行っています。

地域の課題

- ・少子高齢による人口の減少

学校の課題

- ・学校運営の円滑な展開
- ・安定的な募集定員の確保



**大多喜町を中心とした地域の活性化をめざす
コンソーシアムを構築**

「大多喜高校魅力化コンソーシアム」令和3年6月



当コンソーシアムは前条の目的を達成するため次の協働事業を行う

- (1) 大多喜高校支援推進に関すること
- (2) 地域の活性化に係る取組に関すること

構成団体（22団体）

- ・大多喜町・町議会・町教育委員会
- ・町商工会・管内小中学校
- ・いすみ市・勝浦市・御宿町
- ・千葉銀行・いすみ鉄道・大多喜ガス
- ・高大提携校 その他

3-2 大多喜高校魅力化コンソーシアムについて

目的 当コンソーシアムは大多喜高校での人材育成及びより良い学びを提供するための環境づくりと大多喜町・夷隅地域の活性化をめざし 大多喜高校と関係機関が協働体制を構築し 教育活動を展開することを目的とする。



大多喜高校魅力化コンソーシアム

コンソーシアム 年間計画

- 4月 ・探究学習に関する講演会 （1学年）
・コンソーシアム会議 協力関連施設見学 （1 学年）
- 5月 ・地域理解講演会 （1学年）
・地域理解のためのグループワーク （1学年）
・**第1回コンソーシアム会議** 出前授業（委員参観）
- 6月 ・総探ワークショップ①（1学年）
- 7月 ・総探ワークショップ②（1 学年）
- 8月 ・探究活動フィールドワーク
- 9月 ・フィールドワーク/研究活動のまとめ
- 10月 ・発表準備
- 11月 ・**第2回コンソーシアム会議**【大高探究Ⅱ】2 学年成果発表会
- 12月 ・1 学年中間発表会（ポスターセッション）
- 1月 ・**第3回コンソーシアム会議**【大高探究Ⅰ】1 学年成果発表会



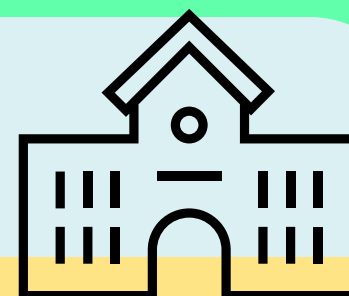
コミュニティ・スクールのイメージ

教育委員会

学校運営に関する意見
教職員の任用に関する意見

委員の任命

学校運営協議会



〇〇高等学校

学校運営の基本方針
学校運営・教育活動

説明

承認・意見

保護者・地域

大多喜高校 学校運営協議会

構成委員 **【コンソーシアム委員を兼務】**

- ・町副町長
- ・町教育委員長
- ・町議会副議長
- ・町議会委員
- ・県中央博物館分館上席研究員
- ・高大連携校副室長
- ・千葉銀行
- ・大多喜ガス
- ・管内小中学校長
- ・PTA会長
- ・学校職員(校長/教頭/事務長)



学校

- ・校長
- ・教務部主任
- ・進路指導主事
- ・生徒指導主事
- ・探究学習担当
- ・教員基礎コース担当
- ・各学年主任



**学校運営
教育活動
の説明**



承認・意見

学校目標具現化に向けた関係者間の合意形成

学校教育目標

「持続可能な地域づくりに貢献できる地域創生リーダー」の育成

4-3 コミュニティ・スクール(CS)の展開について

学校運営協議会 年間計画

5月 ・**第1回 学校運営協議会**

11月 ・**第2回 学校運営協議会**

1月 ・**第3回 学校運営協議会**

1月 ・**教員基礎コース 成果発表**

コンソーシアム 年間計画

4月 ・探究学習に関する講演会 (1学年)
・コンソーシアム会議 協力関連施設見学 (1 学年)

5月 ・地域理解講演会 (1学年)
・地域理解のためのグループワーク (1学年)

5月 ・**第1回 コンソーシアム会議 (出前授業)**

6月 ・総探ワークショップ① (1学年)

7月 ・総探ワークショップ② (1 学年)

8月 ・探究活動フィールドワーク

9月 ・フィールドワーク/研究活動のまとめ

10月 ・発表準備

11月 ・**第2回 コンソーシアム会議【大高探究Ⅱ】
2 学年成果発表会**

12月 ・1 学年中間発表会 (ポスターセッション)

1月 ・**第3回 コンソーシアム会議【大高探究Ⅰ】
1 学年成果発表会**

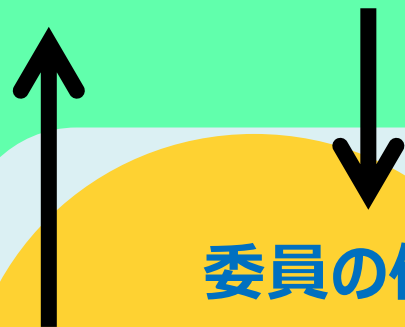
大多喜高校 学校運営協議会

千葉県教育委員会

学校運営に関する意見

教職員の任用に関する意見

地域課題解決の提言



学校運営協議会



・探究学習
・教員基礎コース



大多喜高等学校

学校運営の基本方針
学校運営・教育活動

説明

説明

承認・意見

保護者・地域

学校運営の支援

課題解決の具現化
に向けた協議

大多喜高校魅力化
コンソーシアム
[コンソーシアム会議]



「探究学習」と「教員基礎コース」を両輪とした地域との協働**地 域****学 校****探究学習**

関連施設訪問受入

[地元企業体]

出前授業派遣

[地元自治体/高大連携校]

教員基礎コース

教職講座

[高大連携校/同窓会]

教職体験実習受入

[近隣公立学校]

**コン
ソ
ー
シ
ア
ム**

課題発見・調査・仮説・分析・検証

地域への提言

連携校ワークショップ参加

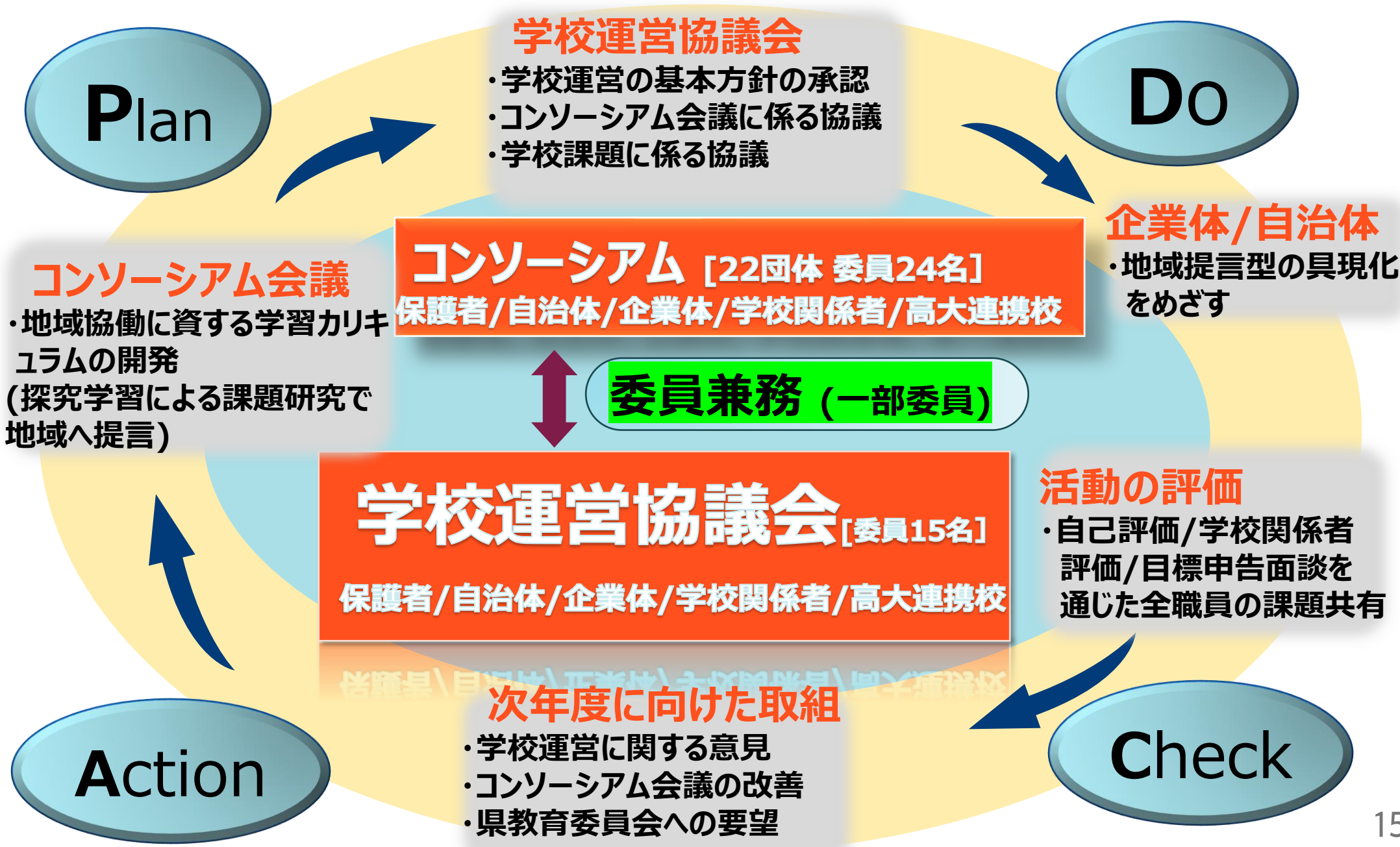
学習支援ボランティア派遣

学校運営協議会 [委員15名]

学校課題に関する協議

千葉県教育委員会

コンソーシアムとコミュニティ・スクールの一体的推進



学校所在地	児童生徒数	学校運営協議会			地域学校協働活動 推進員数
		設置年度	委員数	年間開催回数	
千葉県夷隅郡大多喜町	401名	令和7年度	15名	3回	0

学校教育目標

自己肯定感が高く、大高生としてプライドを持った、持続可能な地域づくりに貢献できる「地域創生リーダー」となる生徒の育成

学校・地域の特徴

地域の特徴

- ・人口8,000人弱
- ・少子化による就学年齢層の激減
- ・人口減少
(過去4年間で762人減)

学校の特徴

- ・創立125年の伝統校
- ・募集定員割が続く
- ・県立高校改革推進プラン「教員基礎コース」開設
- ・「大高探究」から課題研究の手法を習得
- ・コンソーシアムにおいて地域課題への成果発表

学校運営協議会の概要

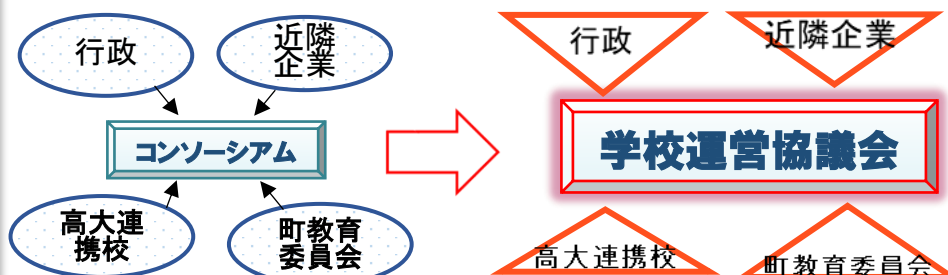
委員の構成

- ・行政機関代表者(副町長/議員)
- ・町教育委員会(教育長)
- ・企業代表者
- ・教育機関代表者(小/中学校長)
- ・高大連携校
- ・保護者代表(PTA会長)
- ・学校職員(校長/教頭/事務長)

これまでの主な議題例

- 今後取り上げるテーマ(予定)
- ・コンソーシアムで生徒が提言した「地域課題解決」具現化に向けた協議
- ・探究学習及び教員基礎コース展開上での課題を協議

組織図



地域学校協働活動の 特徴的な取組や工夫など

学校教育目標具現化のための協力機関

- ・行政及び企業体
(出前講座支援/地域コミュニティ参画)
- ・教育機関
(教育体験実習/こども園での茶道指導/小学校での楽器指導/ミニ集会への協力/学習支援ボランティアの派遣)
- ・高大連携校
(探究学習支援/教員基礎コース支援)
- ・同窓会/後援会
(学力向上助成費支援/OB主催の招待試合運営)



ご清聴ありがとうございました